

今どきの子どもの友人関係？

【プログラムのねらい】

コミュニケーションの取り方がだんだんと難しくなってくる思春期の子どもたちの友人関係について体験活動を通して理解します。基本的な生活習慣や社会性の育成などに関しても、「物理的支え」から「心理的支え」の転換を図り、上手な親離れについて学習します。

【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方、◎ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。 ○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。 ○1グループ4人か6人とします。この後のロールプレイのために、なるべく偶数人数の編成にします。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○導入部を読み上げます。 ◎「ワーク1」の資料を参考にして、記入してください。 ◎グループの中で記入したことをお互い発表しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の子どもが友人たちと過ごしている様子をイメージするように促します。 ○答えに「正しい」、「間違っている」ということはないので、思ったことを自由に記入するように促します。 ○記入にあたっては、走り書き程度のメモでよいことも伝えます。 ○プライバシーに配慮して、友だちの具体的な名前を出したりはしないように伝えます。 ○プログラム集P107の資料「あなたにとって大切な友だちとは？」から、中学生が、「一緒に遊んでいて楽しい」を一番に選んでいることに注目し、意見交換をするように促します。

	<p>◎グループで出た意見を発表してもらいます。</p> <p>◎「ワーク2」を行いますので、グループでペアをつくってください。</p> <p>○実験1、2のやり方を説明します。</p> <p>◎それでは、実験1、2を行います。</p> <p>○実験1、2を終えたあと、「話す人役」に「聞く人役」の態度から、どんな感想をもったかを「聞く人役」に話してもらいます。</p> <p>◎今の実験をもとにして、「ワーク3」で思春期の子どもとのコミュニケーションについて考えましょう。</p> <p>◎思春期の子どもとコミュニケーションをとる時、どんなことに気を付けたらいいのでしょうか。グループで意見交換をしましょう。</p> <p>◎グループの意見を短めに発表してもらいます。</p>	<p>○プログラム集P107の資料「児童生徒のストレスとストレス反応の関係」は「→」が引いてあるところは関係が特に強いことを示しています。このことから、友人との関係がストレスとなっている児童生徒は、様々なストレス反応を示していることを説明します。</p> <p>○司会役にメンバーの意見を集約するように促します。</p> <p>○「話す人役」の話題よりも、「聞く人役」の役割が重要であることを伝えます。</p> <p>○あくまでも実験ですので率直に感じたことを話すように伝えます。</p> <p>○相手が不快に思うのは、「話をしているのに聞いているぞというサインが返ってこない時」や「自分の話が途中でさえぎられる時」などであることを資料をもとにしてまとめます。</p> <p>○司会役に全員の方に発表してもらうように伝えます。</p> <p>○参加者が中学生だった時の体験から考えるように促します。</p> <p>○司会役にメンバーの意見を集約するように促します。</p>
まとめ10分	<p>◎今日の学習のまとめをしましょう。</p> <p>○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり)</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</p> <p>○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。</p> <p>○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</p> <p>○思春期の子どもたちにとって、友人は様々な面で大きな存在です。参加者自身の中学校時代を思い起し、我が子や子どもの友人関係について考えることが大切であることを話しましょう。</p>

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2を中心に流れを考えるようにします。